

研究課題番号	S-18-3
研究課題名	自然災害・水資源分野を対象とした気候変動影響予測と適応策の評価
研究実施期間	令和2年度～令和6年度
研究機関名	茨城大学
研究代表者名	横木 裕宗

## 1. 委員の指摘及び提言概要

堤防などの防護費用や住宅移転費用の推定については、経済面も含めた現実的適応策として評価したい。成果発表・国民との科学技術対話も十分である。本テーマの研究対象は社会・経済構造と放射強制力の両者に大きく影響を受けるため、この2つの要因を分離した評価を加えると理解が進むのではないか。21世紀末のRCP8.5シナリオの影響評価に基づき、緩和策と適応策を同時に講じることの重要性が明確に示された。マングローブ等のグリーンインフラについては、建設費の試算を示すだけでなく、日本のどんな場所に導入すると効果があるかまで踏み込んで頂きたい。災害の被害額の想定などの知見が不足しているので、次期気候変動影響評価報告書に掲載可能な成果が得られることを期待している。

## 2. 採点結果

評価ランク：A